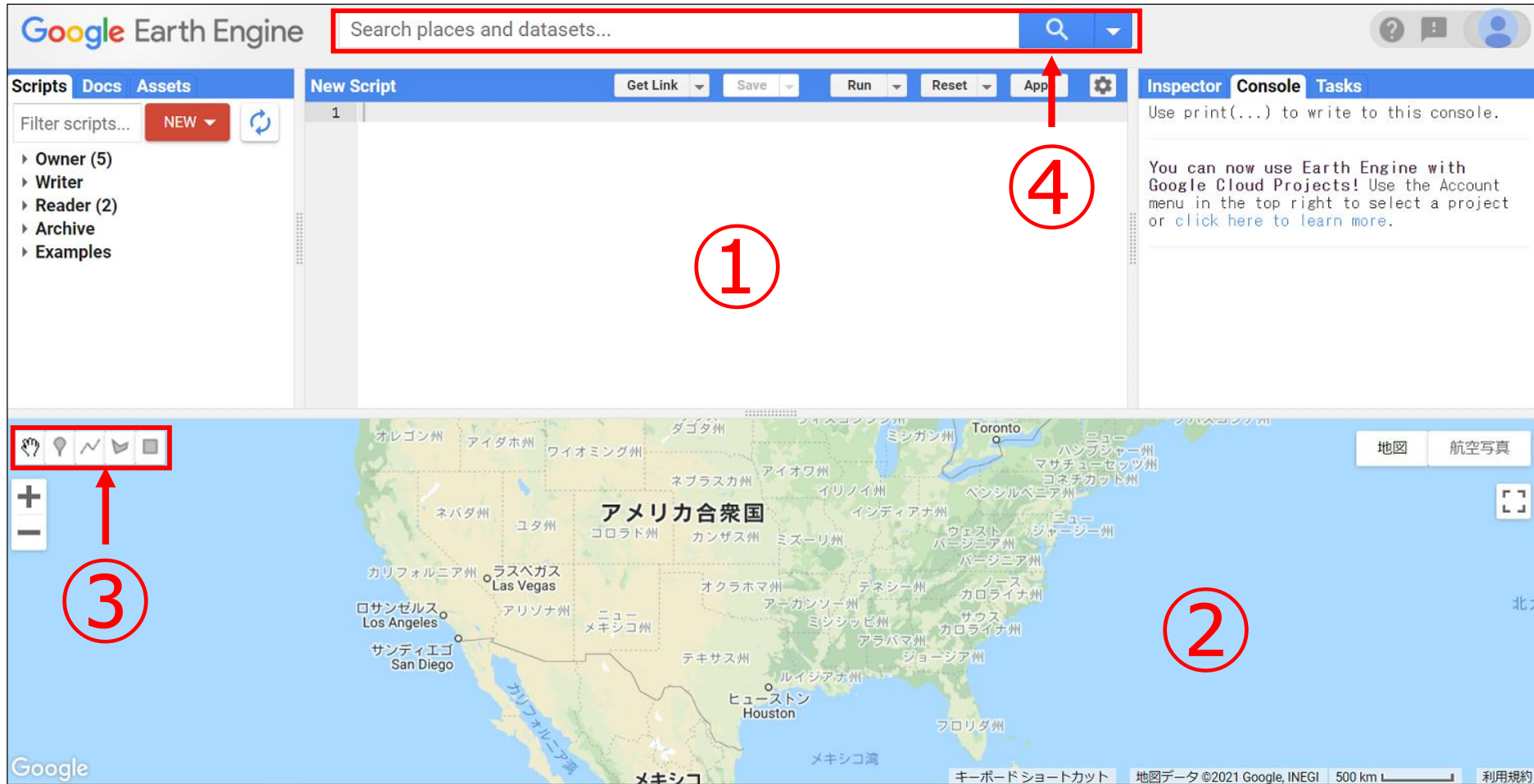


衛星データ（夜間光データ）の
基礎的な取り扱い方の紹介
～事前準備編～

事前準備

- 本紹介の運営を円滑に進めるため、参加にあたっては事前に下記の準備をお願いいたします。
 1. Google Earth Engineへの登録
 - 登録に数日かかる可能性もあり、早めの登録を推奨いたします。
 2. Google Earth Engineのメイン画面の確認
 3. 行政区分データ（2か国）のダウンロード
- 2つ目と3つ目については、次のスライドから解説しています。

Google Earth Engine (GEE)のメイン画面 1/2



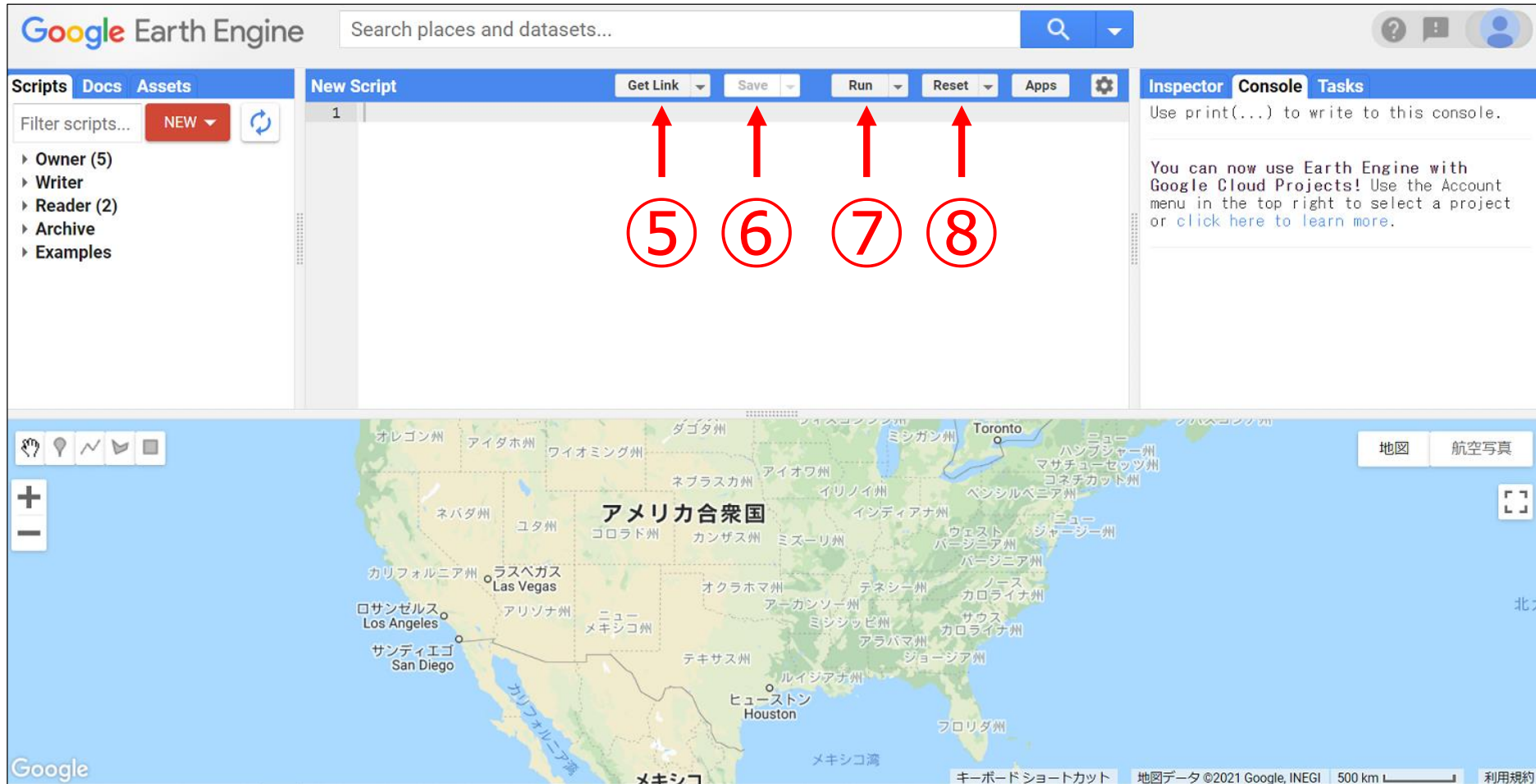
① コードエディター：コードを書く場所

② 地図：衛星データなどを表示させる場所

③ ジオメトリツール：点や線、図形を地図に描く際に使用するツール

④ 検索欄：GEEに格納されている衛星データを検索する場所

Google Earth Engine (GEE)のメイン画面 2/2



⑤ Get Link : 他の人とコードを共有するためのリンクの生成

⑥ Save : 書いたプログラム/スクリプトを保存

⑦ Run : 書いたプログラム/スクリプトの実行 (Ctrl + Enterでも可)

⑧ Reset : 書いたプログラム/スクリプトの削除

行政区分データのダウンロード

- 本紹介では、行政区分データの取り扱い方についても紹介いたします。
- 講座用と演習用の2か国分の行政区分データが必要なため、国連人道問題調整事務所（OCHA）が運営するThe Humanitarian Data Exchangeから、ご入手ください。
- 講座では、ベトナムの行政区分データを使用します。
 - [こちら](#)から「vnm_adm_gov_20201027_shp.zip」のダウンロードしてください（国、province、districtのデータが格納されています）。
- 演習には、お好きな国の行政区分データをダウンロードください。行政が非常に多い国（フィリピン等）は避けることを推奨いたします。